

バイオ除染法の比較

		過酢酸	過酸化水素	ホルマリン燻蒸
日本国内の法令・省令等 (日本薬局方18改正)		○	○	○ ホルマリンの発がん性に伴う 国際的な使用方法の厳格化
殺菌効果		○	○	△ 耐性菌報告あり
安全性		○	×劇物(6%以上)	×発がん性
残留性		あり (酢酸→生分解性高い)	あり	あり
腐食性		小 FOGACTのドライフォグ噴霧と 湿度管理による方法	大	中
後処理		排気・拭き取り	中和(分解)・拭き取り	中和・排気・拭き取り
その他	メリット	生分解性高い 中和作業不要 簡易養生 除染作業が短い	認知度が高く代表的な除染方法 (アイソレーター等)	比較的安価 ガスのため拡散性がよい
	デメリット	酢酸臭(感知可能)	無臭(危険)	嚴重な養生が必要
		認知度が低い	除染作業時間が長い	発がん性があり代替法による切替が進む

過酢酸は安全性、有効性、簡便性に優れた除染剤です